

## 五輪メダリストも参戦し 9 種目でレース開始

470 級男子の磯崎/高柳組、RS:X 級女子の伊勢田が初日トップ

先週末に猛威をふるった台風 21 号の影響で開催が心配された今大会ですが、関係者の迅速な対応により無事開催にこぎ着けました。快晴に恵まれたレース日初日は 470 級男女、RS:X 級男女、レーザー級、レーザーラジアル級、49er 級、49erFX 級、そしてフィン級の男女合わせて 9 種目でレースが始まりました。日本人選手にとって今大会は 2018 年度ナショナルチーム選考も兼ねています。各選手が気合いを入れてレースに挑む中、470 級男子の磯崎哲也/高柳彬組が初日トップに立ちました。



ASAF Sailing Cup/JSAF Enoshima Olympic Week 2017©JUNICHI HIRAI | BULKHEAD Magazine JAPAN

左) フィン級に出場した藤村裕二 右) リオ五輪で金メダルを獲得したフィン級の Giles Scott も参戦

### 【フィン級】

1964 年の東京オリンピックでも実施された伝統種目のフィン級は、参加艇数こそ 8 艇と少ないものの世界ランキング 1 位の Ben Cornish (イギリス)、2 位の Nicholas Heiner (オランダ) そしてリオ五輪金メダリストの Giles Scott (イギリス) など、トップ選手が出場する豪華な顔ぶれとなりました。

3 レースを終えて暫定トップに立った Scott は、「2020 年のオリンピック会場である江の島でレースをすることができ、良い経験になっています。次のオリンピック開始まで明日で 1000 日だそうですね。準備期間はいつもあっという間に過ぎてしまいます。私はこの 1 年、イギリスのアメリカズカップチーム (世界的なヨットレース) に所属していたのでフィン級の練習がほとんどできませんでした。二足のわらじを履くのは難しいですが、今後もアメリカズカップチームに所属しながら、東京オリンピックに出場できるようしっかり準備していきたいと思っています」と意気込みを聞かせてくれました。フィン級には日本の藤村裕二も出場し、現在 8 位です。

### 【470 級男子】

470 級のレース海域は潮の流れが速く難しいコンディションでした。3 レースを終えて参加 29 艇中首位を走るのが磯崎哲也/高柳彬組です。磯崎/高柳組は、先週まで愛知県蒲郡市で開催されていたセーリングワールドカップでも、470 級の世界チャンピオンに次いで準優勝する活躍を見せています。2 位は Diesch/Autenrieth 組（ドイツ）、3 位には高山大智/今村公彦組がつけています。

### 【470 級女子】

17 艇が参加する女子は、トップのイタリア、2 位のオランダの後を日本の吉田愛/吉岡美帆組が 3 位、林優季/西代周組が 4 位で追っています。リオ五輪代表の吉田はこのレースが出産を経ての復帰第 2 戦目です。

### 【レーザー級】

リオ五輪金メダリストの Tom Burton（オーストラリア）、2017 年世界チャンピオンの Pavlos Kontides（キプロス）、2017 年ヨーロッパチャンピオンの Nick Thompson（イギリス）を筆頭に強豪が集まるこのクラスは、今大会最多出場数の 55 艇が集まりました。3 レースを終えての暫定トップはイギリスの Thompson。瀬川和正が日本人トップの 13 位につけています。

### 【レーザーラジアル級】

レーザーラジアル級は女子の一人乗りオリンピック種目であると同時に、男子のユースセーラーにとってレーザー級へのステップアップ種目でもあります。今大会ではリオ五輪の金メダリストなど女子のトップ選手に交じって、男子のユースセーラーも出場。エントリー最年少の中学 2 年生もこのクラスで参加しています。3 レースを終え初日トップに立ったのは、アメリカの Erika Reineke。ロンドン、リオとオリンピック 2 大会で日本代表となった土居愛実は現在 3 位です。

### 【49er 級】

19 艇が参加するハイスピードボートの 49er 級は 2 レースを消化し、学生コンビの高橋稜/小泉維吹組が 7 位で日本人トップ。暫定 1 位は Lefebvre/Pelsmaekers 組（ベルギー）です。

### 【49erFX 級】

男子の 49er 級同様、女子の 49erFX 級も 2 レースを消化。日本からは 3 チームが出場し、参加 12 艇中 4 位、5 位、9 位に位置しています。



ASAF Sailing Cup / JSAF Enoshima Olympic Week 2017 © JUNICHI HIRAI | BULKHEAD magazine JAPAN



ASAF Sailing Cup / JSAF Enoshima Olympic Week 2017 © JUNICHI HIRAI | BULKHEAD magazine JAPAN

ASAF Sailing Cup/JSAF Enoshima Olympic Week 2017©JUNICHI HIRAI | BULKHEAD Magazine JAPAN

左) RS:X 級女子で初日トップの伊勢田愛

右) 東京オリンピックまであと 1000 日!

### 【RS:X 級男子】

初日 2 レース行われたウインドサーフィン種目の RS:X 級男子は、Menggan Gao と Bing Ye の中国勢がワンツーと好調です。続く 3 位には日本の富澤慎がつけています。

### 【RS:X 級女子】

女子は日本人が好調です。伊勢田愛が暫定トップ、2 位に小嶺恵美、4 位の大西富士子はセーリングワールドカップで銀メダルを手にしています。

レース 2 日目の明日からは、ユースセーラー向けの二人乗り種目 420 級のレースも始まります。未来のオリンピックを目指す高校生セーラーの活躍にも注目です。

大会公式サイト：<https://www.jeow.org/>

レース艇のライブ航跡図：<https://yachtrace.jp/event/2017EOW/>

成績表：<https://www.jeow.org/entry-list>

### 【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先】

JSAF 江の島オリンピックウィーク 2017 プレス担当：西 朝子(にし ともこ)  
Tel: 090-1042-9262 Email: media@enoshima470.org

湘南港（江の島ヨットハーバー）神奈川県藤沢市江の島 1-12-2